



豊かな農業と歴史ロマン 「白鳳の郷」

つだこうとのさまかいどう

津田侯殿様街道

平成23年度認定 / 鳥取県東伯郡琴浦町 / 白鳳の郷地域活性化協議会

街道から見える歴史の重みと彩り。

八橋城から倉吉打吹城までの道を「八橋往来」といい、江戸時代八橋郡を治めた津田侯が利用するようになってからは、地域の人から「殿様街道」と呼ばれ親しまれてきました。

現在、地域は「白鳳の郷」として上伊勢、中尾、伊勢野、金屋、槻下、二軒屋、斉尾、斉尾団地、槻下北団地、槻下南団地の十の集落と八橋の一部で構成されています。

八橋城は徳川幕府により廃城となりましたが津田氏の陣屋として明治維新まで政治が行われていました。この城跡を後にして今も残る追手口、鍵の手と制札場を通り城下を出て、笠見、田越を横目にみながら東進すると南の大山を源に日本海に注ぐ加勢蛇川の西に鬱蒼とした木立に包まれているのが「方見神社」です。昔は上伊勢の大神宮と呼



国の特別史跡 斎尾廃寺出土の仏頭
(山陰で最古期のものと考えられています)

悠
久
の
ロ
マ
ン
を
感
じ
る
地
。



地域の憩いの場、交流の場として広く利用されている水辺公園



琴浦町の懐かしい風格ある家並み

ばれ国守の祈願所でしたが、今も荘厳な佇まいのまま、地域の氏神として集落を見守っています。宮橋を渡り、山陰道の高架をくぐると麓を競う家々が並び江戸時代の繁栄を偲ばせます。街道の北には二軒屋の「地藏菩薩」や中尾の「若宮神社」があり、南の伊勢野に入ると「千人宿塔」「一里塚跡」「一里松跡」など、街道が旅人で賑わった時代の名残が随所に見られます。さらに南の金屋集落では「阿弥陀如来座像」「金屋神社」が人々の厚い信仰の対象となっています。東の斉尾地区は、4万平米という広大な白鳳期の寺院跡であり、山陰地方で唯一の国の特別史跡「斎尾廃寺跡」が静かに眠り、奈良時代の権力者の栄光を見る思いがします。この近くには斎尾廃寺を模した「白鳳館」があり、水辺公園と

共に地域の憩いの場となっています。斎尾廃寺跡の眼前に広がる心地の良い緑の大地を東に進むと国史跡「大高野官衙遺跡」が約一町四方に渡って広がりを見せます。この辺りには、江戸時代に街道を往来した津田侯が渡った石橋や休息に使った座石が残っています。ここから北へ進むと「槻下神社」があり、槻下の生い茂った森のように見える一帯が「槻下豪族館跡」です。現在では竹藪に覆われていますが、高さ3mの土塁や曲輪といった遺構は、ほぼ完存しており、鎌倉時代頃の典型的な武士の居館を伺い知ることができます。

神秘的刻に身を委ね歴史の息吹を感じながら、悠久の時が過ぎていきます。

地域の宝で楽しく活気あるまちづくり。



「白鳳の郷地域活性化協議会」会長の米村勝利さん(左)と山崎幸太さん(右)

「白鳳の郷地域活性化協議会」では地域の歴史遺産・文化・自然を活かし、人々が一体となって交流を深め、地域の活性化を図るため多岐に亘る活動を行っています。白鳳の郷健康ウォーキングでは地域の名所や遺跡をめぐることにより、郷土の歴史を再認識し、子どもたちへ「地域の宝」を伝えました。東日本大震災を期に、地域の枠を超えた助け合いが必要という共通の思いで、交流を深めています。



- ① 八橋城趾
- ② 津田家墓所(體玄寺)
- ③ 鍵の手、制札場
- ④ 大経寺
- ⑤ 戦国武士五輪塔
- ⑥ 八橋往来の街道松
- ⑦ 道わけ地蔵
- ⑧ 方見神社
- ⑨ 宿処伝馬の跡
- ⑩ 千人宿塔
- ⑪ 一里塚跡、一里松跡
- ⑫ 海上安全祈願供養塔
- ⑬ 金屋神社
- ⑭ 水辺公園
- ⑮ 白鳳館
- ⑯ 齋尾廃寺跡
- ⑰ 殿様街道に架けられていた石橋の石
- ⑱ 大高野官衙遺跡
- ⑲ 駕籠据場
- ⑳ 槻下神社
- ㉑ 槻下豪族館跡
- ㉒ 嶺松院
- ㉓ 若宮神社



交通 ● 白鳳館まで
 琴浦東ICから車で約5分
 JR浦安駅から約2.9Km

お問い合わせ ●
 琴浦町白鳳の郷
 地域活性化協議会
 ☎0858-53-2155
 琴浦町観光協会
 ☎0858-55-7811

ぶらり歩いてみよう

鍵の手



③ クランク状にまがった道「鍵の手」では、直角に二回曲がらなければならぬので、攻め寄せた敵の進行が遅くなります。また、前方を遮断して遠見が利かなくなる戦略的な意味もあります。

大経寺



④ 司馬遼太郎の小説「菜の花の沖」の主人公高田屋嘉兵衛を育てた鳥取藩の廻船問屋塚屋喜兵衛・貞代夫妻は晩年、八橋に居住しました。塚屋一族の墓があります。

戦国武士五輪塔



⑤ 東伯総合公園造成時に発掘された五輪塔。

方見神社



⑧ 創立年代は不明ですが、奈良朝時代に池田王が神主となり奉仕したという伝説があります。中世、戦国時代の代々武将の崇拝篤く、また代々の領主たちからも篤く信仰されていました。

千人宿塔



⑩ 江戸時代の旅人が休息、宿泊する茶屋と呼ばれた人家があり、1000人目の宿泊客をもてなした後に建立されたものと思われる。

一里塚跡、一里松跡



⑪ 往時、往還に一里の標識として一里毎に道程を表す一里塚があり、また道標として一里松のような樹木が植えられていました。

齋尾廃寺跡(国指定特別史跡)



⑬ 7世紀後半の寺院跡。奈良法隆寺と建物配置が同じで、現在も礎石が良好な状態で残っている非常に貴重な遺跡です。山陰で唯一、国の特別史跡に指定されています。

イベント・活動

そば収穫祭交流会



荒廃農地を活用して、そばの播種及び収穫を行い、収穫したそばを地域住民にて試食(交流)しました。平成21年度から毎年実施しており、参加者も年々増加しています。

ガイドマップ作成、看板の設置



白鳳の郷地域活性化協議会によりわかりやすいガイドマップを作成しました。また、白鳳館に観光案内図看板を設置したり、そば農地へ地域看板を設置しました。

白鳳の郷健康ウォーキング

地域の名所や遺跡めぐり、郷土の歴史を再認識するとともに、子どもたちへ“地域の宝”を伝えました。

地引網交流会

妻波の海岸で地引網交流会を行いました。

みんなが集まる交流施設



白鳳館

齋尾廃寺を模したもので、伊勢崎地区コミュニティセンター(正式名)として平成6年5月に建築されました。同地区の災害時の避難場所や白鳳の郷地域活性化協議会の活動拠点としても活用されています。

オススメ周辺情報

- 🌳 あじさい公園
- 🏛️ 塩谷定好写真記念館
- 🏞️ 船上山
- 🏞️ 大山滝(「日本の滝百選」の一つ)